

# 越前指物

えち ぜん さし もの

釘を使わずに木と製作者の技術だけで作る指物は、木地を挽くことから挽物とも言われます。中でも浮月挽の技術は独特です。

「浮月挽は、年輪100年以上のケヤキを10年以上乾燥させ、ロクロで巧妙に環を浮彫挽にしたもの。初代と二代目は円形が回る作品を手掛け、現在は八角形へと進化させました」  
浮月挽は一つの木を挽いているので、環が回りつつも表面模様（年輪）はピタリと合致。数ミリ単位の緻密な技術に、誰もが驚くはずです。五重の塔や無病息災の縁起物、六瓢箪、現代風の小物入れも手掛けています。



ケヤキの美しい年輪と薄い環が作り出す、独自の優美な工芸品。

## ここがポイント

自作道具で薄い環を追求する。

「細かい作業が多く困難を極めますが、それが面白く、やりがいでもあります。デザインを考え、自作道具を使ってより薄く、巧妙な技術を披露できるよう努力しています」と三代目。今後は実用品も積極的に作っていく予定です。



製造者 / 美術工芸 浮月挽 田中光月  
住 所 / 福井県鯖江市別司町42-6-2  
T E L / 0778-65-2569  
F A X / 0778-65-2569

平成9年3月31日指定